

会 告

第 23・25 回西山記念技術講座開催のお知らせ

—— テーマ：最近の鋼管技術の進歩 ——

主催 日本鉄鋼協会

第 23・25 回西山記念技術講座を大阪ならびに東京で下記により開催いたしますので、多数ご来聴下さるようご案内いたします。

I 第 23 回 (大阪地区)

1. 期 日 昭和 48 年 11 月 27 日(火), 28 日(水)
2. 会 場 日本生命中之島研修所講堂 (大阪市北区常安町29 TEL 06-443-3131)

II 第 25 回 (東京地区)

1. 期 日 昭和 49 年 3 月 5 日(火), 6 日(水)
2. 会 場 農協ホール (千代田区大手町 1-8-3 農協ビル 9 階 TEL 03-279-0331)

III 演題ならびに講師

- | | | | |
|-------|-------------|----------------------|------------------|
| 第 1 日 | 9:30~12:00 | 鋼管の用途の現状と将来 | 住友金属工業(株) 桑原 春樹君 |
| | 13:00~15:00 | 最近の鋼管成形加工における研究成果 | 大阪大学 加藤 健三君 |
| | 15:00~17:00 | 継目無鋼管の製造技術 | 住友金属工業(株) 小島 浩君 |
| 第 2 日 | 9:30~12:00 | 電気抵抗溶接鋼管および鍛接鋼管の製造技術 | 新日本製鉄(株) 志水 敏詮君 |
| | 13:00~15:30 | 大径溶接鋼管の製造技術 | 日本鋼管(株) 境 文四郎君 |

IV 講演内容

1. 鋼管の用途の現状と将来 桑原 春樹君

わが国の鋼管生産量は 1970 年に米国を凌ぎソ連について世界第 2 位を占めるに至った。その生産の伸びは、特に溶接鋼管において著しい。これら鋼管の用途は、極めて多岐にわたっているが大別すると物を輸送することを目的とする配管と管の内外で熱交換することを目的とする熱伝達用と構造用、その他に分類できる。鋼管の取引に使用される規格について概説し、主として主な用途の現状と将来について述べる。

2. 最近の鋼管成形加工における研究成果 加藤 健三君

鋼管製造技術としての成形加工については各種の方法があり、それぞれの特長を生かして生産に利用されている。そこで、継目無し鋼管および溶接鋼管の両分野にわたり、最近の研究成果について公表されたものを取り出して述べる。

3. 継目無鋼管の製造技術 小島 浩君

継目無鋼管の用途はますます多岐にわたり、高級化の傾向にある。これは伴う製造技術も、ここ 4 半世紀の間に目覚ましい発展を遂げた。ここでは、その製造技術の概要と各種製造方式の特質を技術史的側面から述べ、さらに品質、生産性の向上や原価低減を主眼とした最近の進歩、発展を眺め、今後の方向を探らうとする。

4. 電気抵抗溶接鋼管および鍛接鋼管の製造技術 志水 敏詮君

電気抵抗溶接鋼管(電縫管)および鍛接鋼管の製管、精整の諸設備の進歩と、その溶接および鍛接部の検査法として著しい進歩を示した非破壊検査設備について述べた。鍛接管は主として一般の配管に使用されるが、電縫管は素材製造および製管技術の進歩により溶接部の信頼性が向上し、ラインパイプ、ボイラチューブなど的高级管まで使用分野が及んでいる。これについて概説したのち、最近注目されている表面処理についても述べた。

5. 大径溶接鋼管の製造技術 境 文四郎君

大径溶接鋼管(サブマージドアーク溶接鋼管)は近年エネルギー輸送用ラインパイプ、国土開発用大径厚肉パイプ分野を中心にいちじるしい需要がみられる。使用分野の拡大によりその使用条件は一層厳しさが要求されてきている。

ここでは、代表的な製法(U.O.E およびスパイラル鋼管製造法など)について発展経過、技術的問題点および関連技術を紹介し、あわせて時代の脚光をあびている寒冷地ラインパイプの素材および製造技術の開発状況について述べる。

V 聴講無料 (事前の申込みは必要ありません)

VI テキスト代 2000 円

VII 問い合わせ先 日本鉄鋼協会編集課 千代田区大手町 1-9-4 経団連会館
TEL 03-279-6021

“鉄鋼分析”特集号原稿募集のお知らせ

投稿テーマの申出：昭和48年12月10日

原稿締切日：昭和49年2月25日

本会編集委員会では会誌「鉄と鋼」をよりよく会員にご利用いただけるよう年2回の特集号を発行いたしておりますが、今回鉄鋼分析に関する特集号を企画いたしました。下記テーマに関する研究成果の論文、技術報告あるいは寄書として、奮ってご投稿下さるようご案内いたします。

募集内容

1. 鉄鋼分析の自動化
2. 鉄鋼の状態分析
3. 一般鉄鋼分析（化学分析、QV、AA、FX、ガス分析等）
4. 有害物質を使用しない分析法および分析排出液の処理法

記

1. 投稿テーマの申し出締切日 昭和48年12月10日（月）
（本文原稿ご投稿前に投稿テーマをご連絡下さい）
2. 原稿締切日 昭和49年2月25日（月）
3. 原稿枚数 本会の投稿規程に従う
4. 発行予定 「鉄と鋼」第60年第13号（昭和49年11月号）
5. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階
日本鉄鋼協会編集課 03-279-6021

第 87 回(来春)講演大会討論会

『高炉燃焼帯の挙動』小講演、討論等募集のお知らせ

本会では、昭和49年4月開催の第87回講演大会討論会において製鉄部門では「高炉燃焼帯の挙動」をテーマとし、従来の討論会とは違った運営方法を採用しますので、下記の要領にご留意のうえ討論等、ご投稿下さるようご案内いたします。

1. 討論会運営要領

冒頭に新日本製鉄(株)下村泰人氏による基調講演「高炉の燃焼帯に関する諸問題について」（鉄と鋼12号会告添付）が行なわれます。

討論は時間の関係から基調講演の内

- 3) 燃焼帯の変化に及ぼす諸要因の影響
- 4) 燃焼帯での反応
- 5) コークスの燃焼量と出鉄能率

に重点をおくこととし、3)、4)、5) についてそれぞれ10分程度の数件の小講演をお願いし、さらにコメント、ご意見等を述べていただきます。

2. 応募要領

基調講演の3)、4)、5) を重点とした関連小講演、コメント、ご意見等いずれも結構ですから、鉄と鋼12号会告綴込みの申込用紙（ブルー）裏面にデータ、結論等を簡潔にまとめてお申し込み下さい。なお、ご応募の内容は前刷りとせずそのコピーを当日討論会場で出席者に配付いたします。

3. 申込締切日 昭和48年11月20日（火）

4. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会編集課 Tel. 03-279-6021

第 32 回 講 演 討 論 会

「金属強度における諸問題」

日本鉄鋼協会九州支部，日本金属学会第 I，第 II 総合分科会，日本金属学会九州支部共催
 日 時：昭和 48 年 12 月 21 日(金) 9:30~17:00
 場 所：九州大学付属図書館視聴覚室（九大農学部キャンパス，最寄り市電駅：九大中門）
 電話 092-64-1101，内線 5308

9:30~9:40	開会の挨拶	企画世話人	北島 貞吉
座長 藤田 英一			
9:40~10:20	(1) FCC 金属結晶の降伏と初期変形	九大工	北島 貞吉
10:35~11:15	(2) Coplanar すべり	京大工	高村 仁一
	— 休 憩 10 分 —		
座長 中尾 善信 (九工大)			
11:40~12:20	(3) 侵入型原子による Ti の強化 — 昼 食 —	九工大	岡崎 謙二
13:30~14:10	(4) マルエージング鋼の不均質変形	九大工	徳永 洋一
座長 青木 宏一 (新日鉄)			
14:25~15:05	(5) 脆性破壊	九大・応力研	北島 一徳
	— 休 憩 10 分 —		
15:30~16:10	(6) おくれ破壊	阪大・基礎工	藤田 英一
座長 高村 仁一			
16:25~17:00	総合討論		
企画世話人	江口鉄男，北島貞吉	電話	092-64-1101 (内 3703)

第 2 回「鋼における水素の挙動」シンポジウム開催御案内

— 遅れ破壊機構へのアプローチ —

鉄鋼基礎共同研究会，遅れ破壊部会（日本学術振興会，日本金属学会，日本鉄鋼協会）主催で，下記により標記シンポジウムを開催致しますので，奮つてご参加下さい。

記

1. 開催日時：昭和 48 年 11 月 16 日(金) 9:20~17:00
2. 開催場所：大阪科学技術センター 4 階 401 号室（大阪市西区靱 1 丁目118 うつぼ公園横）
 地下鉄 四ツ橋線「本町」下車 徒歩 2 分
 バス 「うつぼ公園前」下車 すぐ TEL (03) 443-5321
3. 講 演

(1) 9:30~10:45	高張力鋼の遅れ割れ現象とその解析	大阪大学	菊田 米男
(2) 10:45~12:00	拡散の立場から見た鋼中の水素の挙動	名古屋工業大学	○浅野 滋
		川崎製鉄	中井 揚一
(3) 13:00~14:15	遅れ破壊における腐食の役割	新日本製鉄	岡田 秀弥
(4) 14:15~15:30	水素脆性と破面形態	住友金属工業	寺崎富久長
(5) 15:45~17:00	遅れ破壊過程での割れの伝播及び形態	新日本製鉄	南雲 道彦
4. 参加費無料 事前の申込みは必要ありません。
5. オーバー・ヘッド・プロジェクターを用意致しますので，質問などで必要のある方はお使い下さい。
6. 講演要旨集を発行致しますので，現金 800 円（予価）を書留にて，下記へお申し込み下さい。出来次第御送付致します。またお問合せなども下記へお願い致します。
 〒 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
 日本鉄鋼協会技術部気付 鉄鋼基礎共同研究会遅れ破壊部会事務局宛
 TEL (03) 279-6021 (代)

日本鉄鋼協会北海道支部

昭和48年秋季講演会開催案内

本会北海道支部では、日本金属学会北海道支部と共催で、下記により秋季講演会を開催いたします。多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日 時 昭和48年11月15日(木) 9:00~17:00
16日(金) 8:40~12:00

場 所 札幌市北12条西6丁目 北海道大学応用電気研究所講堂

題演および講演者

第1日目	(1)	柱状晶-等軸晶の遷移機構に関する一考察	北 大	工藤 昌行
	(2)	擬一方向凝固によるマクロ偏析	日 鋼	宮本 剛汎
	(3)	18-8ステンレス鋼のSD効果と歪異方性について	函 工 専	富岡 由夫
	(4)	極厚ステンレス鋼の特性に関する2, 3の検討	日 鋼	楠橋 幹雄
	(5)	軟鋼のV型開先突合せ溶接における角度形の発生過程	室 工 大	藤原 幹男
	(6)	3%Ni-Cr-Mo-V鋼の切欠引張強さについて	日 鋼	山本 義雄
	(7)	Ca-Si-Ba-Al 複合脱酸剤の脱酸効果について	日 鋼	志賀 靖彦
	(8)	LD-RH プロセスにおけるステンレス鋼溶製時の Cr バランスについて	新 日 鉄	小野寺徳郎
	(9)	鉄-1.2%マンガン合金と合成鉄硫化物の反応について	北 大	矢野 芳則
	(10)	鉄合金の析出におよぼす点欠陥の影響—第2報—	北 大	高橋平七郎
	(11)	Cu-Al 系 γ 相組成領域の組織観察	北 大	福地 正明
	(12)	Cu および Al の粒界内耗について 14:00~17:00 湯川記念講演ならびに特別講演を予定(演題未定)	室 工 大	桑野 寿
第2日目	(13)	低温高圧下のX線解析装置の試作とNiS ₂ の研究	北 大	遠藤 将一
	(14)	Ni 薄膜における一軸磁気異方性の分散について	北 大	佐藤 正義
	(15)	強冷延銅板の交差圧延効果	北 大	三辻 晴夫
	(16)	潤滑処理熱延鋼板	新 日 鉄	伊藤 吉司
	(17)	鉄圧粉体の焼結機構についての電気抵抗測定による考察	北 開 試	鈴木 良和
	(18)	ネーパル黄銅-ニッケルおよびアルミ青銅-ニッケル拡散 対における相互拡散について	日 鋼	吉野 勇一
	(19)	Ni 基 Co 合金の高温酸化	北 大	山内 忠晴
	(20)	低 FeO 原料焼結における保熱炉の効果	新 日 鉄	和島 正己
	(21)	酸化物系介在物におよぼすC脱酸の影響	日 鋼	谷口 晃造
	(22)	QTM による非金属介在物の測定および2, 3の応用例	新 日 鉄	古賀 晴明

日本鉄鋼協会第87回(春季)、第88回(秋季)講演大会

開催地のお知らせ

本会標記講演会は、下記により開催いたすことになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 第87回(春季)講演大会

期 日 昭和49年4月2日(火), 3日(水), 4日(木)

場 所 日本大学生産工学部(千葉県習志野市泉町1-2-1)

2. 第88回(秋季)講演大会

期 日 昭和49年11月3日(日), 4日(月), 5日(火)

場 所 近畿大学(東大阪市小若江3111)